

はままつWell-Beingアワード2023 応募申込書

【はままつWell-Beingデザイン賞】

Digital Smart City HAMAMATSU



令和5年9月1日
サーラE&L浜松株式会社

- ・地域幸福度（Well-Being）指標は、市民の「暮らしやすさ」と「幸福感（Well-being）」を可視化する指標として、一般社団法人スマートシティ・インスティテュート（以下 SCI-Japan）が作成・開発した Liveable Well-Being City 指標® の別称です。
- ・Liveable Well Being City 指標を示す標章に関する商標権その他の知的財産権は、SCI-Japanに帰属しています。

応募申込書【はままつWell-Beingデザイン賞】

1

Digital Smart City HAMAMATSU

No	項目	内容
1	取組やサービスの名称	～暮らしを豊かにする特別なセミナー～「サーラプレミアムセミナー」の開催
2	取組やサービスの対象・ターゲット	子育て中の親と子
3	取組やサービスの内容	サーラグループの浜松地区の企業が、サーラE&L浜松株式会社を中心に、子育てしやすい地域、持続可能な社会の実現を目指し、「サーラプレミアムセミナー」を2018年より年1回、サーラプラザ浜松を会場として開催してきた。 2018年は子育て中の親を対象に、臨時託児所を配置し、著名人の講演を開催。神経科学者・澤口俊之氏の「幸せに生きる脳の力」、翌2019年は、オリンピック金メダリスト内村航平氏の母、周子さんの「子育てに正解はない！内村家流こどもの伸ばし方」という講演会を実施し、子育て中の親へ気づきを与えた。 2020年はコロナ過により活動を一時中断。その間、次回開催に備え、参加者アンケートを検証し、議論した。親子参加型での開催要望が多かった為、子育て中の親と子を対象としたセミナーへ変更した。 再開した2022年は、SGDsの内容を踏まえ、「浜松のいきものたち」をテーマとし、実際に親子で昆虫や魚を観察。多様性に富む生き物が生息できる環境について、親子で話し合い、専門家のゲストのトークセッションも実施した。 2023年は「カーボンニュートラルと新エネルギー技術」について、水素自動車や太陽光発電装置などを実際に見て触れる体験や、クイズなども取り入れた。親子で楽しみながら学んだ後、子供たちは数班に分かれ、20年後の暮らしについてグループ討議し、アイデア発表会まで行うプログラムとした。グループ討議では初対面にもかかわらず、子ども同士の活発な交流ができたり、主体的に取り組む様子がみられた。発表会後には、各班の作品をサーラプラザ浜松1Fにて、8月末まで展示した。

No	項目	内容
4	対象・ターゲットの 幸福感向上のストーリー (ロジックツリーの補足説明)	著名人による幸せな生き方、子育てに関する講演へ参加した親にとっては、専門家の話から、豊かな暮らしについての気づきが得られた。 また、SDGsについて学ぶセミナーへ参加した親子にとっては、生き物の多様性、環境への配慮や省エネルギーなどについて、体験を通じて楽しく学べ、より理解が深まり、新たな気づきが得られた。 子どもたちにとっては、普段学校の学校生活ではできない体験に興味をもち、いきいきと主体的に取り組んでいた。 更には、初対面の同世代の子どもたちとの交流が生まれ、良い刺激となった。これらのセミナー参加後に得た気づきを、身近な人へ話したり、SNSなどを通じて発信したりする。その結果、気づきを伝えられた人に共感され、明るく前向きな気持ちになれる。 各家庭において、親にとっては、子どもの積極性や協調性などの成長が感じられてうれしく思い、子どもにとっては、初対面の子と一緒に協力して作品発表出来たことが、自信になる。
5	地域への波及効果 (ロジックツリーの補足説明)	人間は、うれしかったことや楽しかったことを人に話すことで、より幸せな気分になれると言われている。子どもたちは、セミナーへ参加しなかった学校の友だちへ自分の体験を伝える。親たちは、体験を通じて得た気づきを近隣へ伝えることにより、豊かな暮らしについて話し合うキッカケづくりとなる。そうすることで、地域の子育て中の親の意識が変わり、それぞれの気づきをお互いに共有し合う循環が生まれてくる。初めは、いち家庭という小さな「点」であったものが、他の家庭の点とをつないで「線」となり、やがて地域の「面」へと成長する。その結果、この地域の人たちが、それぞれ豊かな暮らしについて考えを共有し、行動することで、子育てしやすい地域、持続可能な社会の実現を目指している。

No	項目	内容
6	取組やサービスの効果測定的设计 (2024年以降の実施計画)	1【測定の目的】セミナー参加者が多くの気づきを得て、気持ちの変化が現れ、今後の豊かな暮らしの実現に向けた行動ができているかを検証すること。 2【対象】セミナーへ参加する親と子。 3【測定方法】アンケートを【セミナー前】【セミナー後】【報告書完成時】の3回実施。回答はサーラのHPを活用 ・セミナーの前と後の参加者の心の変化に着目した質問を設定。各項目を5段階の数字で評価し、総合点を集計し、比較検証する。 * 5段階評価（「変化なし」を基準に、「とてもよくなった」が最高評価、「むしろ悪くなった」が最低評価とする。） 各家庭、セミナー全体に分けて集計する。 4【アンケート内容】（当日セミナー前後の合計2回、後日1回） 【セミナー前】生活に関する心配事等、現在の幸福感等、セミナー内容への期待感等の項目を設定。 【セミナー後】セミナー前と同じ質問+今後のセミナーへの興味関心のあるテーマ+サーラへの要望等。 【報告書完成時】（参加者へのフォローも兼ねている）その後の周囲への働きかけ等についての項目を設定。学んだ気づきを誰と共有したか、実際に行動したことは何か、自分自身の心境に変化があったか等（約2か月後を想定） 5【検証】アンケート結果を検証をする。セミナーテーマや、アンケート項目の反省点などを議論し、次回への改善策を講じる。
7	取組やサービスを紹介したホームページやSNS等（任意）	（ホームページのURL等を記載） https://www.youtube.com/watch?v=7qmoytEW250 浜松ケーブルテレビ番組「ウィンディさんちよく」にて放映済。 Youtube動画でも常時閲覧可能としている。 サーラプラザ浜松1F大型モニターでも9月末まで投影継続予定。

応募申込書【はままつWell-Beingデザイン賞】

4

Digital Smart City HAMAMATSU

No	項目	内容
8	取組やサービスの写真等（2023年の様子）	カーボンニュートラルについて学ぶ 水素自動車（左）、省エネルギー機器を体験（右）   子どもたちが数班に分かれて、「20年後の未来」を話し合い、成果発表する様子   セミナー終了後、地域へ向け、発表作品やセミナー内容を公開している様子 サンプラザ浜松内 1Fスペース（左）1F大型モニター画像（右）  

＜幸福感向上のロジックツリー＞

ターゲット：子育て中の親と子

